

講義シラバス

科目名	ピックアップヘアメイク	必修 選択の別		開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	32 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	メイクアップアトリエ	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場やファッションショー、舞台、ドラマ、プライダルなどのモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々へのヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、更に世界の四大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加するなど、海外まで活躍の幅を広げているアーティストが14名所属するヘア名事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
テーマに基づき、イメージ通りのヘアメイクをする事が出来るようになる									
【学習内容】									
テーマに基づきコンセプトシートを作成し、イメージ通りのヘアメイクをする事が出来るようになる									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (/)	【到達目標】				⑨ (11/21・22)	【到達目標】 K-POP風ヘアメイク			
② (/)	【到達目標】				⑩ (11/28・29)	【到達目標】 中華風ヘアメイク			
③ (/)	【到達目標】				⑪ (12/5・6)	【到達目標】 セレブ風ヘアメイク			
④ (/)	【到達目標】				⑫ (12/12・13)	【到達目標】 Y2K風ヘアメイク			
⑤ (/)	【到達目標】				⑬ (1/16・17)	【到達目標】 トレンドヘアメイク			
⑥ (/)	【到達目標】				⑭ (1/23・24)	【到達目標】 定期試験の練習、コンセプトシートの作成			
⑦ (/)	【到達目標】				⑮ (1/30・31)	【定期試験】60 自由なテーマでイメージ通りにヘアメイクを行う			
⑧ (11/14・15)	【到達目標】 コントゥアリング				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。 				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

講義シラバス

科目名	ピックアップヘアメイク I	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	28 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生		
講師名	鶴岡 瑛子	講師 プロフィール	東京でフリーランスの特殊造型・特殊メイクスタッフとしてMVやTVCM、映画製作などに携わる。現在は札幌に活動の拠点を移し、札幌ベルエポック美容専門学校にて非常勤で特殊メイク実習を行っている。						
【授業を通じての到達目標】									
特殊メイクの基本を学び、ビューティメイクへの応用力を身につけ、表現の幅を広げる。									
【学習内容】									
普段使用しているメイク道具を用いて、傷メイクやゾンビメイクなどの基本的な特殊メイクを行う。また、特殊メイクで用いる材料や道具の使い方も学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、筆記用具、特殊メイク用品など。									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/26・27)	【到達目標】 オリエンテーション 本実習の内容を理解する。				⑨ (/)	【到達目標】			
② (10/3・4)	【到達目標】 ペイントによる傷メイク(アザや切り傷など) 普段使用しているメイク道具を用いて、肌に傷を描く手法を理解する。				⑩ (/)	【到達目標】			
③ (10/10・11)	【到達目標】 ペイントによる傷メイク(傷口の縫い目など) 前週のアザや切り傷のメイクに加え、さらに複雑な凹凸を意識した陰影のつけ方を学ぶ。				⑪ (/)	【到達目標】			
④ (10/17・18)	【到達目標】 不健康メイク 色の効果や人体の構造を理解し、血色の悪さや目の下のクマなどを作るメイクを学ぶ。				⑫ (/)	【到達目標】			
⑤ (10/24・25)	【到達目標】 ゾンビメイク デフォルメされた血管や陰影などの表現を学び、ゾンビのメイクができるようになる。				⑬ (/)	【到達目標】			
⑥ (10/31・11/1)	【到達目標】 老齡メイク シワやシミなどの加齢に伴う身体の変化を学び、それをメイクで表現できるようになる。				⑭ (/)	【到達目標】			
⑦ (11/7・8)	【到達目標】 テーマを決めてセルフメイク(オンライン課題) 与えられたテーマに沿ってセルフメイクを行い、撮影して提出する。 自分でコンセプトを決め、デザインし、メイクを行うまでの流れを実践する。				⑮ (/)	【定期試験】60			
⑧ (/)	【到達目標】				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
普段行うビューティメイクとは違う視点をもって興味を広げ、楽しさを忘れず授業に取り組む。									

講義シラバス

科目名	トータルコーディネート	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生		
講師名	畑 育実	講師 プロフィール	有限会社DADDIKU fashion 代表。主にTV・CM・タレントなどのスタイリスト&ヘアメイク&ファッションデザイナーとして活動し、美の総合プロデュースを行うイメージカウンセラーでもある						

【授業を通じての到達目標】

1Sで習得した基本知識を応用し活用出来る力を身につける事が出来き、課題に取り組む過程で起きる問題を解決する問題解決能力を発揮し、課題積極的に取り組み、プロ意識をもって何事もチャレンジ精神で挑む事が出来る。完成度の高いファッションとヘアメイクのトータルプロデュースが出現場で求められるプロフェッショナルな業界人を目指す

【学習内容】

ファッションの基礎知識(トレンド感性、アイテム名称、シルエットライン、ディティールなど)の基本を活用し、ヘアー、ネイル、ファッションのトータルネット提案を実践しグループワークで発信力をもって提案していく

【使用教科書・教材・参考図書】

DVD視聴

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/28)	【到達目標】 オリエンテーション。今後の授業内容の確認と次週の準備 業界人として必要な技術を習得し今後どのように取り組んでいくのか明確な計画と目標を持つことが出来る	⑨ (11/23)	【到達目標】 グループ毎に野外撮影演習。※雨天の場合は屋内③ 女性人気アーティストの模倣をトータルコーディネートし実技、撮影特徴を分析し、よりリアルに模倣できるテクニックを身につけ、幅広いジャンルに対応できる
② (10/5)	【到達目標】 デニムを使用したトータルコーディネートの提案と撮影(バックスクリーン) 課題テーマに協調性と積極性を持って取り組む事が出来る	⑩ (11/30)	【到達目標】 定期試験に向けての準備 トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、協調性を持って意欲的に進行させる事が出来る
③ (10/12)	【到達目標】 人気アーティストのメンズファッションの特徴を知り、イメージ似合うコーディネート提案が出来るようになる。GPワーク 協調性と行動力を持って積極的に取り組む事が出来る	⑪ (12/7)	【到達目標】 定期試験に向けての準備 トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、モチベーションを上げ、目標に向かい進行させる事が出来る
④ (10/19)	【到達目標】 ファッションとヘアメイクのバランスを考え、衣装の特徴と体型、シルエットに合わせたヘアメイクの実技提案が出来るようになる。GPワーク 協調性と行動力を持って積極的に自主的に取り組む事が出来る	⑫ (12/14)	【到達目標】 定期試験に向けての準備 トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、モチベーションを上げ、目標に向かい進行させる事が出来る
⑤ (10/26)	【到達目標】 指定のアーティストに合うファッションスタイルの提案をグループワークする 指定のアーティストの情報、分析する力を発揮し、ターゲットのイメージと提案したいスタイルがリンク出来る様に提案方法も工夫し説得力ある提案が出来るようになる。	⑬ (1/11)	【到達目標】 定期試験に向けての準備 トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、モチベーションを上げ、目標に向かい進行させる事が出来る
⑥ (11/2)	【到達目標】 グループ毎に野外撮影演習。※雨天の場合は屋内① 決定したトータルコーディネートのテーマに合わせて、施術し撮影する 協調性と行動力を持って積極的に取り組む事が出来る	⑭ (1/18)	【到達目標】 定期試験に向けての準備 トータルコーディネートと演出についてのグループワーク 計画表に基づき、モチベーションを上げ、目標に向かい進行させる事が出来る
⑦ (11/9)	【到達目標】 課題授業 女性人気アーティストの模倣をトータルコーディネートを提案 特徴を分析し、よりリアルに模倣できるテクニックを身につけ、幅広いジャンルに対応できるようになる	⑮ (1/25)	【定期試験】60 トータルファッションコーディネート(ファッション、ヘアメイク、ネイル、音楽、演出、ウォーキング含む)提案、撮影。習得した知識、技術の1年間の集大成を発揮することが出来る
⑧ (11/16)	【到達目標】 外部モデルを使ったトータルコーディネートの提案 決定したトータルコーディネートのテーマに合わせて、施術し撮影する 協調性と行動力、コミュニケーションを持って意欲的に取り組む事が出来る	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

自立した職業人として教養と実務能力を身につけ、情勢と状況に応じて自己実現のために学び、広い視野と他者理解をもって協議、提案していく

講義シラバス

科目名	アシスタントプログラム	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	藤 なつき	講師 プロフィール	札幌ベルエポック専門学校を卒業し、美容、ブライダル会社にてコーディネーターヘアメイクとして勤務。現在、フリーランスのヘアメイク。						
【授業を通じての到達目標】									
現場実習に備えて、クライアントやお客様の要望に応える技術を身につける。									
【学習内容】									
アシスタントとして必要な知識や技術を身につける。ヘアセットのバリエーションを増やす。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式、筆記用具					1、事前準備 2、相モデルに合うヘアメイクを考えてくる 3、ヘアメイク作品の整理				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/28)	【到達目標】 ヘアセット道具一式、ウィッグ アシスタントワークを想定したヘアセット練習 アイドルチームヘアメイクを想定し、ヘアアレンジをする。(ヘア道具一式)				⑨ (11/30)	【到達目標】 相モデル、ヘア道具一式、ターバン ターバンをつかったヘアセットができるようになる(小物への対応力)			
② (10/5)	【到達目標】 ヘアセット道具一式、ウィッグ エキストラヘアメイクを想定したヘアセット練習時間を意識したトレーニング(ウィッグ)				⑩ (12/7)	【到達目標】 相モデル、ヘア道具一式、紐、ピン 紐、ピンをつかったヘアセットができるようになる(小物への対応力)			
③ (10/12)	【到達目標】 ヘアセット道具一式、人頭 エキストラヘアメイクを想定したヘアセット練習時間を意識したトレーニング(人頭)				⑪ (12/14)	【到達目標】 ・お花をたくさん使ったヘアメイクができるようになる。(相モデルor3人組) ・写真を撮る。			
④ (10/19)	【到達目標】 ヘアセット道具一式、ウィッグ ブライダルの現場を想定したヘアセット練習(ヘアのバリエーションをふやす)ウィッグでトレーニング				⑫ (12/21)	【到達目標】 ・お花をたくさん使ったヘアメイクができるようになる。(相モデルor3人組) ・写真を撮る			
⑤ (10/26)	【到達目標】 ヘアセット道具一式、人頭 ブライダルの現場を想定したヘアセット練習(ヘアのバリエーションをふやす)				⑬ (1/11)	【到達目標】 筆記用具、雑誌、ハサミ、ノリ 定期試験準備 コラージュ、コンセプトシート作成			
⑥ (11/2)	【到達目標】 相モデル、ヘア道具一式、帽子 イベントブースを想定したヘアセット練習(簡単に早く崩れない練習)				⑭ (1/18)	【定期試験】 1人目 60点 定期試験 1人目 コラージュしたヘアメイク、衣装も込みで完成させ写真を撮る			
⑦ (11/9)	【到達目標】 ヘア道具一式、帽子 <課題> 帽子を使ったヘアセットができるようになる。(小物への対応力)				⑮ (1/25)	【定期試験】 2人目 60点 定期試験 2人目 コラージュしたヘアメイク、衣装も込みで完成させ写真を撮る			
⑧ (11/17)	【到達目標】 相モデル、ヘア道具一式、帽子 帽子を使ったヘアセットができるようになる。(小物への対応力)				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
*学校の企画や、イベントにより授業内容変わりますのでしっかりと内容確認してください。									
●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。									

講義シラバス

科目名	ベーシックメイクⅡ	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	講義	総時間数	60 時間
学科	ヘアメイク科	コース	ヘアメイク専攻			学年	1年生		
講師名	松丸 亜弥美	講師 プロフィール	ヘアメイクサロン経営。CM撮影・広告・ブライダル・撮影なども行っている。						

【授業を通じての到達目標】

ヘアメイクアーティストとして時代の変化や流行に敏感になることなることでメイクの知識・技術・提案力を身につけ自分自身のセンスを磨く

【学習内容】

様々なメイクの応用技術を学ぶ

【使用教科書・教材・参考図書】

メイク道具一式・筆記道具・ノート

【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/26)	【到達目標】小テスト2点 つけまつ毛を使って可愛い印象のメイクが出来るようになる	⑨ (11/21)	【到達目標】小テスト4点 今時のブライダルメイクがどんなものか調べ相モデルでメイクを行う
② (10/3)	【到達目標】小テスト2点 つけまつ毛を使ってクールな印象のメイクが出来るようになる	⑩ (11/28)	小テスト3点 振袖に合ったメイクが30分で出来るようになる
③ (10/10)	【到達目標】小テスト2点 カットクリースメイクのやり方を知り実際に相モデルで行う	⑪ (12/5)	【到達目標】小テスト3点 振袖に合ったメイクが30分で出来るようになる
④ (10/17)	【到達目標】小テスト2点 脳科学・心理学講師『梅澤未来』先生による授業	⑫ (12/12)	【到達目標】小テスト3点 何パターンのメイクの中から好きなメイクを選び相モデルで行う
⑤ (10/24)	【到達目標】小テスト2点 ミスコンメイクがどんなメイクかを知り相モデルで行う	⑬ (12/19)	【到達目標】小テスト3点 何パターンのメイクの中から好きなメイクを選び相モデルで行う
⑥ (10/31)	【到達目標】小テスト3点 イメージコンサルタント西村先生による授業	⑭ (1/16)	【到達目標】小テスト4点 定期試験に向けて自分自身でテーマを決めてコンセプトシートを仕上げる※今まで学ん
⑦ (11/7)	【到達目標】小テスト4点 課題提出(トレンドカラーを使ったメイクをセルフで行いチームズにあげる)	⑮ (1/23)	【定期試験】60点 テーマに沿ったメイクを時間内に仕上げる
⑧ (11/14)	【到達目標】小テスト3点 イメージコンサルタント西村先生による授業	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

自己管理が出来るよう指導する。忘れ物の管理において準備不十分の者は小テストよりマイナスとする

講義シラバス

科目名	スチールヘアメイク	必修 選択の別	必修	開講 区分	2S	授業 形態	実習	総時間数	30 時間
学科	ヘアメイク科	コース				学年	1年生		
講師名	アトリエ/蓮川・三谷	講師 プロフィール	メイクアップアトリエはCMや広告、テレビ等の撮影現場や、ファッションショー、舞台、ドラマ、ブライダル等のモデルやタレント、アナウンサーや一般の人々のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、更に世界の4大コレクションであるNYコレクションにもJAPANチームとして参加する等、海外まで活動の場を広げているアーティストが所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
様々なスチールヘアメイクを、テーマやモデルに合わせて出来るようになる。									
【学習内容】									
スチールヘアメイクの基礎と応用を学び、テーマ合わせた作品作り。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/25)	【到達目標】2 オリエンテーション、シラバスの説明、相モデルでメイク				⑨ (11/27)	【到達目標】3 【テレビ】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。			
② (10/2)	【到達目標】3 【サロンスタイル】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。				⑩ (12/4)	【到達目標】3 【ファッションショー】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。			
③ (10/16)	【到達目標】3 【ロケフォト】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。				⑪ (12/11)	【到達目標】3 【成人式】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。			
④ (10/23)	【到達目標】3 【モデルのイメージチェンジ】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。				⑫ (1/15)	【到達目標】3 【ブライダル】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。			
⑤ (10/30)	【到達目標】3 【雑誌】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。				⑬ (1/22)	【到達目標】3 【グリーンバック】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。			
⑥ (11/6)	【到達目標】3 【雑誌】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。				⑭ (1/29)	【到達目標】2 各自でテーマを決め、それに基づき相モデルでヘアメイクが出来るようになる。(テスト練習)			
⑦ (11/13)	【到達目標】3 【雑誌】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。				⑮ (2/5)	【定期試験】60 各自で決めたテーマに合わせて、相モデルでヘアメイクが出来るようになる。			
⑧ (11/20)	【到達目標】3 【テレビ】をテーマに相モデルでヘアメイクが出来るようになる。				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト40点/定期試験60点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									